

# 全現場を完全週休2日

## 若年層の採用促進へ



今泉社長

だけに挑戦していきたい」と話す。

同社では約2年前から、今年4月の時間外労働の罰則付き上限規制に向けてワーキンググループを設置して準備を進めてきた。夜間集中工事など道路建設業特有の課題があり、一定の残業時間は発生しているものの、適用開始から半年以上たった現在も上限を大きく上回る社員はいないという。

こうした中、来年度から全国全ての現場に完全週休2日制を導入する。土曜日と日曜日、祝日は現場閉所にする考え。ただ、工場など平日に工事が行えず、休日指定の工事については例外として認める方向で検討している。

今泉社長は「週休3日制という企業もある時代であり、このままでは働き方だけでなく人材採用にも大きく影響する。いまの学生は福利厚生の部分をよく見ていて、休めない企業は選ばれない。新人が入ってこないと会社経営もできないため、早く完全週休2日にしたい」と力を込める。

その上で「当然、課題も多分出てくると思う。（稼働日数が減る分は）投資をしながら取り組みを進めている省人化・省力化の技術開発などにより生産性を高めていく。完全週休2日制の導入をうたうことで、意識が変わる。失敗を恐れずに挑戦したい」と強調する。

来年3月に創業100周年の節目を迎える前田道路。働きやすさ・魅力ナンバーワン企業を目指し、完全週休2日制の全面導入に道路建設業界の先陣を切って取り組む。

前田道路は、2025年度から民間工事を含む原則全ての現場で完全週休2日制の導入に踏み切る意向だ。若年層の採用促進や、働き方改革の一層の推進が狙い。24年度中に枠組みづくりを進めるとともに、協力会社をはじめ取引先などにも丁寧な説明を行うことで理解を得る方針だ。今泉保彦社長は「相当いろいろな問題が出てくるのが予想されるが、休日取得に対する意識を変えていく必要がある。（完全週休2日か否かは）人材採用にも大きく影響する

